

2026 年 9 月 4－6 日

日本心理学会第 90 回大会（2026 年 9 月 4－6 日，東洋大学白山キャンパス）で，公大協のシンポジウムおよびワークショップを開催しました。

●シンポジウム「公認心理師は診療報酬拡大でどう変わるか：エビデンスの力」

企画

一般社団法人公認心理師の会 公認心理師養成大学教員連絡協議会（公大協）

丹野義彦

唐沢かおり（日本心理学会理事長、日本心理諸学会連合理事長）

阿部恒之（日本心理学会常務理事、日本心理諸学会連合前理事長）

北村英哉（日本心理学会常務理事、公大協副会長）

嶋田洋徳（日本学術会議会員、日本心理学会理事、日本心理諸学会連合監事）

話題提供

鈴木伸一（早稲田大学）・丹野義彦

「公認心理師が行う認知行動療法的アプローチに基づく心理支援の診療報酬化」

丹野義彦

「公認心理師と診療報酬：草の根エビデンスの力で山が動いた」

古村 健（名古屋市立大学）

「公認心理師からみた診療報酬改定」

指定討論

清水栄司（千葉大学） 医師の立場から

嶋田洋徳（早稲田大学） 学術会議の立場から

* シンポジウムの動画は下記の YouTube でご覧いただけます。

<https://youtu.be/6-wCR3F8ugQ>

2026年 日本心理学会 第90回大会 大会企画シンポジウム

公認心理師は診療報酬拡大でどう変わるか

2026年6月の診療報酬改定で、
公認心理師の診療報酬が **大きく拡大**しました

- ① **認知行動療法**に基づく心理支援（330点）が新設
患者の自己負担1000円（3割負担）で受けられるように
- ② 「**心理支援加算**」の対象拡大と増額（280点）
PTSD限定から不安症全般に拡大され、増額
- ③ **精神科棟看護・多職種協働加算**の新設
精神科病棟に公認心理師等を配置すると加算される
- ④ 「臨床心理技術者等を公認心理師とみなす経過措置」は
令和10年5月で廃止



企画趣旨

今回の改定についてよく知り、どんな意義があるか、
公認心理師の養成にどう活かすか、社会貢献にどう活かすか



●シンポジウム 「公認心理師試験からみた公認心理師」

企画：公大協国家試験検討委員会

企画代表者：国里 愛彦（公大協国家試験検討委員会委員長、専修大学）

司会：国里 愛彦

話題提供

国里 愛彦「公大協国家試験検討委員会の活動から」

宮川 純(河合塾 KALS)「試験対策の専門家から」

森田 麻登(神奈川大学)「養成校教員から」

大水 拓海(専修大学)「受験者から」

指定討論

丹野 義彦「公大協の立場から」



●チュートリアルワークショップ

「事例とロールプレイで学ぶ心理演習の教材づくり」

講師：古川 洋和（公大協事務局長）

企画：丹野義彦

